

# 宇佐市立 宇佐小学校

## 学力向上プランの概要

### 授業改善テーマ

#### ◎子どもの思いや考えを大切に、わかる楽しさ、できる喜びのある授業づくり

- ①子どもたちが課題解決への意欲を持ち、主体的に学ぶ授業の構築
  - ・「聞く力」「話す力」をつけさせるための話し合い活動を充実させる。
  - ・子ども主体の話し合い活動をもとに自分たちでまとめにつなげる授業をする。
  - ・話し合いの中心となるリーダーの育成をする。
  - ・年10回の互見授業と、事後研を実施し、互いの授業の向上を図る。
- ②自分の考えをしっかりと持て、表現できるための手立てや環境の工夫
  - ・「書く力」「表現する力」をつけさせるための場を工夫する。
  - ・【書く活動の指導及び自分の考えをまとめる時間（5分間）の確保及び話型指導及び板書の工夫】児童生徒の学習意欲を向上させるための工夫をする。
  - ・板書を月1回各自で撮影し、授業を振り返る。

## 効果のある取組事例

- ①指導方法や指導形態の工夫
  - ・個別指導と複数指導体制によるきめ細かい指導。
  - ・根拠まで求める課題解決型の授業。
  - ・ブロック小中学校で連携した生活、学習ルール『みんなでてっぴい』の実施。
- ②学習意欲の向上と学力定着のための取組
  - ・ICT機器の活用による「わかる授業」の推進。
  - ・2年生以上に一人1冊ずつの国語辞典を持たせる。
  - ・朝の10分間の集中学習（漢字・計算・読書）の実施。
  - ・学期末の全校一斉学力定着月間の設定（国語・算数の基礎基本の定着）によるつまずきの克服と「やればできる」という成就感を味わわせる取組。
- ③家庭学習の充実による自ら学ぶ子どもの育成
  - ・「学習のきまり」にもとづいて学習用具の確認を子どもにさせる。
  - ・「家庭学習の手引き」を目安に家庭学習の声かけをする。
  - ・一週間の家庭学習の取り組みについての確認と声かけをする。
  - ・週末課題での家庭読書、活用問題の取組の実施。
  - ・メディアコントロールの取り組みによる学習習慣の定着。
  - ・保護者は学期に1回は子どもの様子を参観し、学校評価アンケートに回答する。